

令和8年度 入学式式辞（令和8年4月8日）

色鮮やかな若葉が美しい季節を迎えた今日の佳き日に、多くの御来賓の皆様の御臨席を賜り、保護者の皆様の御出席の下、令和八年度愛媛県立松山東高等学校の入学式を挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない喜びであり、ここに厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました三百四十九名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を、在校生並びに教職員一同、心から歓迎いたします。

皆さんは将来に向け、新たな一步を切り拓くために、晴れて本校への入学を果たしました。これまでの努力に深く敬意を表するとともに、皆さんを支えてこられたご家族や関係者の皆様に、心よりお祝い申し上げます。

本校は、松山中学校創立から148年、その前身である松山藩藩校「明教館」から数えると198年という、極めて長い歴史を有しております。この学び舎を巣立った多くの同窓生は、地元愛媛はもとより、全国、そして世界で活躍されています。皆さんは、本校に入学できたことを誇りに思うとともに、これからの3年間、勉学や部活動に思う存分打ち込み、充実した高校生活を送ってください。

さて、新入生の皆さんは今、高校生活への大きな夢と期待を胸にこの場に臨んでいることでしょう。皆さんの門出に際し、二つのことをお伝えします。

一つ目は、「明確な目標を掲げ、自らの可能性に挑戦してほしい」ということです。

多様な可能性を秘めた皆さんには、まず学習、部活動、進路など、それぞれに具体的な目標を持ってほしいと思います。その目標を達成するために、「日々をどう過ごすべきか」「どのような努力を積むべきか」を明確にし、一日一日の積み重ねを大切にしてください。高校時代は将来を方向づける極めて重要な期間です。失敗を恐れず、自分の限界を自分で決めず、果敢に挑戦してくれることを願っています。

二つ目は、「周囲と良き人間関係を築き、共に高め合う生活を送ってほしい」ということです。

皆さんは今日から、本校という舞台で「冒険と挑戦の旅」を始めることになります。しかし、それは決して孤独な旅ではありません。共に歩む仲間、そして支えてくれる多くの人々がいます。一人ひとり性格や考え方が異なるからこそ、互いの違いを認め、相手の良さを見つけ、思いやりを持って協力し合うことが大切です。切磋琢磨する中で友情を深め、人としての在るべき姿を考え、人間性を磨いてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。

これからお子様は一步一步、自立への道を歩むことになります。心優しく、困難に負けないたくましい若者に育つことは、保護者と教職員の共通の願いです。「松山東高校に来てよかった」「松山東高校に行かせてよかった」と卒業の日に実感していただけるよう、全力を注いで参ります。

保護者の皆様におかれましても、本校の教育活動に対する御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。

令和8年4月8日

愛媛県立松山東高等学校長 丸山達也